

❀ 第2回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日 時 平成29年12月17日(日) 13:00~15:00

場 所 黒崎地区公民館

参加者 地域の皆さん 約22人



1 第1回と第2回に話し合った内容

第1回

(11/23)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②市の説明をふまえ、**どんな施設を見直すべきか**、**どんな取り組み**ができるか話し合いました。
- ③外海地区にある**公共施設の利用状況**を付せんに書き出し、地区にあるどの施設を見直すべきか話し合いました。



第2回

(12/17)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の公共施設の配置の考え方**と、第1回で参加者の皆さんから伺った施設の利用状況や、建物の状況などを基に市で検討した**公共施設のあり方の見直し案**をお示しました。
- ②**見直し案**に対しての**ご意見・ご提案**を、書き出してもらい、グループごとに**課題やアイデア**を出し合いました。

2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案

観光施設



まちづくり記念館

観光客が施設等の魅力を感じ、理解を深め、高い満足度を得るような価値を有する場所に設置することとしています。

❀主に長崎さるくのガイドステーションとして利用されていますが、手狭であり、ガイドステーション充実のため、周辺施設に移転したいと考えています。

文化財



ド・ロ神父記念館

文化財は、地域の歴史や文化に欠くことのできない大切な財産として、文化財保護法などにに基づき、保存、継承、活用することが求められています。

❀文化財として、引き続き適正な維持管理に努めていきます。

2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案（つづき）

博物館等



外海子ども博物館

市民全体が利用する施設として、教育の振興や学術・文化の発展に寄与することを目的として設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。



外海歴史民俗資料館



遠藤周作文学館

- ❖ 外海子ども博物館は、平成30年3月に廃止します。
- ❖ 内部改修のうえ、9月から、老朽化した出津地区公民館の移転先として、地域の皆さんにご利用いただくこととしています。

- ❖ 歴史民俗資料の展示や保存については、将来的に平野町の歴史民俗資料館に集約しますが、外海の特徴的な資料については、外海の地域内で展示する必要があると考えています。
- ❖ 現在、歴史民俗資料館運営委員会で、展示資料の整理の考え方についての議論が行われており、その議論も踏まえて、将来的な施設のあり方について検討したいと考えています。

- ❖ 遠藤文学ゆかりの地に立地し、貴重な遠藤周作に関する資料を有する施設として、引き続き適正に管理していきたいと考えています。

コミュニティ施設



黒崎地区
公民館

地域の皆さんがふれ合ったり、いろいろな活動を行っていく場所（コミュニティ施設）については、気軽に立ち寄ることが出来る範囲として、小学校区ごとに配置していく考えですが、外海地区では、地域の成り立ちなどを考慮し、旧小学校区ごとに配置していきます。ただし、近くに同じような使い方をしている施設がある場合は見直す必要があります。



外海公民館



出津地区
公民館



- ❖ 黒崎地区公民館と外海公民館は、地域活動の拠点として、引き続き適正な維持管理に努めます。

- ❖ 出津地区公民館は、平成30年9月に外海子ども博物館に移転することとしています。移転後は、出津地区における地域活動の拠点として、適正な維持管理に努め、皆さんに大いにご利用いただきたいと考えています。



老人福祉センター
開陽山荘

- ❖ 開陽山荘は、利用者が少ないこと、建物の耐震性がなく、バリアフリーにもなっていないこと、老朽化が進んでおり、特にボイラー設備は耐用年数を迎えている（2017年）ことから、今後も施設を維持管理していくには多額の費用が必要です。
- ❖ 旧出津小学校の地域内には、同じコミュニティ機能をもつ出津地区公民館があることから、開陽山荘については、今後ボイラー設備の更新は行わず、入浴の機能について、民間施設の利用なども含め代替策を検討した上で、施設を廃止したいと考えています。

レクリエーション施設



黒崎海岸有料シャワー施設

❖他のサーフスポットでは、利用者自身が簡易シャワーやポリタンクなどを準備していることなどから、今後、施設の改修などに大きな費用を投資する必要が生じた場合に廃止したいと考えています。



西出津ゲートボール場

❖西出津ゲートボール場は、ゲートボール専用施設としては廃止し、多目的に利用できるよう活用のあり方について、地域のみなさんと考えていきたいと思っています。

農林業振興施設

長崎市全体として施設規模の適正化を図っていくこととしています。



外海ふれあい
農産加工所

❖施設は適正に管理しながら、さらなる農業振興・地域振興につながるよう、今後、運営のあり方については継続して検討していきます。

物産振興

農水産物直売所は、生産者の所得向上や地域の農水産業の活性化に大きな役割を果たしていますが、その多くが民間により設置・運営されており、市で設置している直売所については、あり方を見直していく必要があると考えています。



道の駅
夕陽が丘そとめ

❖道の駅のブランド力を活かした情報発信・地域交流の拠点として、現在の施設を適正に管理しますが、施設や運営のあり方は、今後とも継続的に見直していく必要があると考えます。

地域センター

行政手続きや地域のまちづくりを支援する拠点は、引き続き地域に必要と考えています。



外海地域センター



外海地域センター
黒崎事務所

❖これから人口が減少するとともに、手続きの電子化や簡素化が進むことが見込まれるため、将来的には、人口動向などによっては適切な見直しを図っていくことも検討しながら、現在の施設の適正な管理に努めます。

市営宿泊施設

宿泊施設については、本来は民間に任せるべき分野と考えており、将来的に廃止、または民間運営が可能な施設については民間委譲を行います。



外海ふるさと
交流センター

❖外海地区内には宿泊施設が少ないことから、現在の施設が使用可能な当分の間、宿泊機能については引き続き設置しますが、施設や運営のあり方などについては、今後も継続的に検討することとします。

市営住宅

人口減少社会を迎え、将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小していく方針です。また、入居者の点在を解消し、効率的な維持管理が出来るようにしていく方針です。



永田第1住宅



永田第2住宅



永田第3住宅



高尾住宅



松本住宅



松山迫住宅



出津住宅



西出津住宅



丸尾住宅



神浦住宅



夏井住宅

❖外海地区の市営住宅については、引き続き適正な維持管理に努めるとともに、今後の住宅需要や民間の動向を踏まえたうえで、適正な管理戸数になるよう見直します。

港湾施設



神浦港ターミナル

❖離島地区の住民や観光客などの航路利用者には必要不可欠ですので、航路がある限り、船客待合所としての機能を維持します。

消防出張所



北消防署神浦出張所

❖効率的な消火活動のため、道路状況や隣接する消防施設の位置などを考慮した上で、全市的な観点で計画的に配置します

小中学校



外海黒崎
小学校



神浦
小学校



外海地区
中学校
※
新校舎
建築中

❖学校の適正化については、協議が済んでおり、今の施設を適正に管理します。

遊休資産

遊休資産については、建物の残存耐用年数や施設の老朽化の状況などを考慮し、建物の解体や売却・貸付も含め、今後、有効な活用方法の検討を行いたいと考えています。



黒崎中学校
(H31年4月以降)



旧神浦中学校



旧外海行政
センター

3 意見の記入

今回の対話では、長崎市が考えた外海地区の公共施設のあり方の見直し（案）について、まず、参加者の皆さんに意見を書き出してもらい、その後、各班で施設毎に意見のとりまとめをしていただきました。



4 発表

各班の発表内容の主なものです。

外海歴史民俗資料館

- 池島炭鉱の展示は神浦でもいいのでは。
- 会議室などはいらないのでは。
- 地域独特のキリシタン資料、出津地区の土器の資料は残してもらいたい。
- 施設が古く、耐震化、バリアフリーがなされていない。大規模改修か、縮小建替を行っては。



まちづくり記念館

- 何か小売機能があった方がいい。
- 地元工芸家の作品の展示販売を行ってみたい。
- ガイドステーション機能を子ども博物館に移転する。
- 歴史民俗資料館に統合してもいいのでは。
- 観光拠点施設は必要。



老人福祉センター開陽山荘

- 今後の改修費を考えると廃止はやむを得ない。
- 入浴機能を他で確保できれば廃止はやむを得ない。
- 社協はどうなるのか。移転するのか。災害が起きた場合の連絡活動場所は。
- 入浴施設の利用者は数名であり、代替策は不要では。



黒崎海岸有料シャワー施設

- 考え方（大規模改修時に廃止）はいいのでは。
- シャワー施設トイレは継続してほしい。
- シャワー施設は、設置した経緯があるので、廃止の際は、住民やサーファー団体等と協議を行う必要がある。



西出津ゲートボール場

- 建物の塗装（維持管理）をしっかりとる必要がある。
- フットサルやグランドゴルフで活用。



4 発表(つづき)

各班の発表内容の主なものです。

市営住宅

- ・古いアパートに住んでいます。修理をしながらなるべく長く住めれば。



道の駅 夕陽が丘そとめ

- ・よく利用している。店が少ないので、できるだけ継続してほしい。



外海・黒崎地区公民館

- ・ふれあいセンター化でより柔軟な使い方ができ、たくさんの方が利用できるようになるのでは。



外海ふるさと交流センター

- ・行政センター跡のスペースを活用し、宿泊施設の拡充を。



遊休資産

- ・世界遺産関係で観光客が増えると思うので、大型バスが駐車できる資料館が作れないか。(旧神浦中、旧外海行政センター、黒崎中)
- ・調理室を開放して地元に使ってもらっては。(旧神浦中)



移転後の出津公民館

- ・屋外に薪で調理できるような「かまど」があれば地域で使える。



【講評】(アドバイザー: 首都大学東京 都市環境学部 讀岐 亮 先生)

今回の市の案に対し、皆さんはよく理解されていると思いました。もちろん全面的に賛成ではないでしょうし、もっといいアイデアもあると思いますが、コスト、サービス、建物寿命のことを考えてくださっているので感心させられました。

今日いただいた意見には、市が持ち帰って検討しなければいけないものもあったので、その結果も踏まえて次回以降も議論を深めていきましょう。

次回の対話では・・・

第2回目の対話で住民の皆様から出された意見に対しての市の考え方をご説明し、さらに話し合いを進めたいと考えています。

次回の対話

第3回 日時:平成30年1月27日(土) 13:00~15:00

場所:外海ふるさと交流センター(神浦) ※第2回目とは場所が異なります!

◆お問い合わせ:長崎市理財部資産経営室(☎直通:095-829-1412)